

平成29年3月（第1回）岩倉市議会定例会

一般質問通告要旨

1 相原 俊一 議員

- 1 災害時の命の水の確保のために
 - (1) 発災直後と10日目以降とでの水の必要量は。
 - (2) 発災時点での水の確保量は（貯水場）。
 - (3) 公共施設の給水タンクの容量は（庁舎、消防、体育館、団地給水塔、希望の家、各公民館、防災コミュニティセンター）。
 - (4) 広域避難所（小学校、中学校、高校）の貯水量は。
 - (5) 発災時における市の送水場の貯水タンクからの送水システムの説明を。
 - (6) 学校のプールの水の用途は。
 - (7) 緊急遮断弁の説明を。
 - (8) 小・中学校の給水施設に緊急遮断弁の取り付けを求める。
- 2 エンディングノートを岩倉でも
 - (1) エンディングノートの説明を。
 - (2) 老人会等での普及は。
 - (3) 岩倉市独自のエンディングノートを作っては。
- 3 庁舎1階の環境整備を
 - (1) 北側駐車場から風が入り市民が寒い、対策は。
 - (2) 設定温度はロビーとカウンターと同じか。
 - (3) ロビーの照明は適切か。

2 塚本 秋雄 議員

- 1 健康について
 - (1) 健康長寿社会の実現について
- 2 自転車都市をめざして
 - (1) 自転車に配慮したまちづくり
- 3 市長の政治姿勢について
 - (1) 信頼について

3 櫻井 伸賢 議員

1 建物火災発生時の消防団員招集について

- (1) 岩倉市の広報誌の「火災発生時のサイレンが変わります」という記事の中の「これまでのサイレン吹鳴装置が使用できなくなる」というのはなぜか。
- (2) サイレンの鳴る場所が、一部の同報系防災行政無線システムのスピーカーだが、全ての同報系防災行政無線システムのスピーカーで鳴らす必要はないのか。
- (3) 全ての消防団員にこのサイレン吹鳴方式の変更を周知したか。
- (4) 現在の同報系防災行政無線システムのスピーカーを使ったサイレン吹鳴を維持しようとするならスマートフォン向け「消防団アプリ」などの活用の考えはないか。

2 東京都福祉保健局が広めている「ヘルプマーク」について

- (1) 現行「ヘルプカード」の配布状況、活用状況について
- (2) 東京都福祉保健局が作成・配布している「ヘルプマーク」を岩倉市に導入する考えはないか。

3 情報セキュリティー対策について

- (1) 現状について
- (2) 持ち出し時に自動的に暗号化されるソフトの導入、セキュリティーフォント（暗号化字体）などの導入の考えはないか。

4 関戸 郁文 議員

1 行政におけるICT技術推進について問う

- (1) 行政効率化Systemの現行費用について問う。
- (2) 自治体Cloudの取組と必要性について問う。
- (3) コンビニ交付運用費用について問う。
- (4) 情報自治の為のSystem投資について問う。
- (5) 自治体ICTとSecurityについて問う。
- (6) 自治体AI導入の可能性について問う。

5 大野 慎治 議員

- 1 防災士の養成を求める
 - (1) 現状について
 - (2) 防災士職員の養成を求める。
 - (3) 地域リーダー育成のため防災士養成補助事業創設を求める。
- 2 早期の学校給食の食物アレルギー食対応を求める
 - (1) 現状について
 - (2) マニュアル作成は進んでいるのか。
 - (3) いつから学校給食の食物アレルギー対応食を始めるのか。
- 3 公共施設に鯉のぼりを掲揚しよう
 - (1) 現状について
 - (2) 市役所・総合体育文化センター・小学校等に鯉のぼりを掲揚しよう。
- 4 民間企業等職務経験者採用枠（社会人採用枠）として一級建築士を採用するべきではないか
 - (1) 現状の問題・課題について
 - (2) 他市町の採用状況について
 - (3) 社会人採用枠として一級建築士を採用するべきではないか。
- 5 市長マニフェストについて問う。

6 黒川 武 議員

- 1 公共施設の再編・統廃合について
 - (1) 公共施設の再編・統廃合への問題提起について
 - ① 公共施設とは何か、その役割は何かを問う。
 - ② 公共施設の再配置計画と長寿命化計画の整合性をどのように図るのか。
 - ③ 市民参加をどのように実施するのか。
 - (2) 保障行政（公民連携）について
 - ① 地域コミュニティと公共施設について
 - ② 公民連携の中長期的な指針を策定してはどうか。
 - (3) 立地適正化計画について

- ① 立地適正化計画は公共施設の再編・統廃合と関連するのか。作成するのか。
- ② 公的不動産・低未利用地の有効活用について
- (4) 公共施設政策について
 - ① 公共施設政策はどうあるべきか。
- 2 国土形成計画～中京大都市圏づくりについて
 - (1) 中京大都市圏づくりとどう関わるのか
 - ① 国土形成計画をどう考えるのか。
 - ② 中京大都市圏づくりにおける愛知県の取組とどう関わるのか。

7 木村 冬樹 議員

- 1 憲法に基づく平和行政を進めよう
 - (1) 平和首長会議への参加は継続するのか。
 - (2) 核兵器禁止条約について、どのように考えているのか。
 - (3) 「ヒバクシャ国際署名」に賛同するのか。
 - (4) なぜ「核兵器廃絶平和都市宣言」の懸垂幕を掲げないのか。
 - (5) 岩倉市周辺での軍事拠点化の動きにどう対応していくのか。
 - (6) 小牧基地でのブルーインパルス展示飛行はやめさせるべきではないか。
 - (7) 「広島の被爆アオギリ二世」を活用した平和事業を考えられないか。
- 2 公共施設の統廃合・再編問題にどう取り組むのか
 - (1) やはり削減目標からスタートすることはおかしいのではないか。
 - (2) 二次評価で廃止・譲渡とした施設があるが、その理由は何か。
 - (3) 誰もが貧困に陥る可能性がある社会のもとで市営住宅を廃止していいのか。
 - (4) ヒアリングを行う関係団体が狭すぎないか。
 - (5) 市民参加の手続きが少ないのではないか。
- 3 岩倉の保育の充実を求める
 - (1) 来年度の入園の状況はどうなっているのか。
 - (2) 兄弟姉妹で別々の保育施設という状況にどう対応していくのか。
 - (3) 公立保育園の縮小はやめるべきではないか。
 - (4) 病児保育の拡充をどのように進めていくのか。

(5) 保育士の労働実態の改善や処遇改善をどのように図っていくのか。

8 伊藤 隆信 議員

- 1 大山寺駅周辺の魅力を発信し元気なまちづくり
 - (1) 北島藤島線の開通による周辺の土地開発について
 - (2) 五条町の今後のまちづくり
 - (3) 南部地域の企業誘致について
 - (4) 五条川ウォーキングロードの整備
- 2 ずっと住みたいまちづくりについて
 - (1) 貸家の現在の状況
 - (2) 貸家の空き室がまちづくりに影響はないか。
 - (3) 若者が定住したいまちづくりについて

9 宮川 隆 議員

- 1 新市長の市政運営に対する具体的な考え方を聞く
 - (1) 保育環境の充実による新たな課題への取組
 - (2) 「子どもや家庭に寄り添う相談支援体制の充実」を支えていく為のケア体制をどのように構築すべきとお考えか。
 - (3) 南西地域の企業誘致にあたって、市としてどのような形で関わっていくのか。
 - (4) 駅前の賑わいづくりを掲げておられるが、東西を二分する名鉄犬山線と駅前にアプローチする人の移動・導線を考慮した道路の総合的な構想はあるのか。
 - (5) 所信表明の中では駅西ロータリーは触れられていなかったが、計画構想は無いのか。
 - (6) 空き家バンク設置後にどのような形で定住志向に誘導するのか。
- 2 年度末に集中する道路等の規制時の情報を市民・住民に周知できないか
 - (1) 岩倉市ほっと情報メールの活用は出来ないのか。